

令和 7 年度 地域包括支援センター活動計画 重点目標

多摩センター

(認知症重点目標)

重点的に取り組む課題と目標	目標を達成するための活動計画
<p>テーマ：認知的フレイルに理解のある地域づくり</p> <p>【課題・背景】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリア内には通いの場が多くあるが、認知症を発症すると、利用の継続が困難になったり、団体側の受け入れが出来なくなることがある。 ・自治会等住民組織の中でも認知機能が低下した人への対応に苦慮することが多く聞かれる。 ・住民活動の中で認知的フレイルを自分事として捉えられるような取り組みや、知識の習得、普及啓発の必要性が増している。 ・認知症施策とも連携しながら活動をしていく必要がある。 <p>【目標】</p> <p>元気なうちに認知的フレイル予防活動に取り組み、認知症になってもお互いに助け合える地域づくりを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近トレは認知力アップトレーニングや近トレ Plus が導入されることとなったため、既存の近トレ団体やそれ以外の自治会・サロン等の団体、新たな地域に働きかけを行う。 ・地域資源の把握・整理を行う中で、認知症地域支援推進員とも協働しながら、認知症の基礎知識の普及啓発を実施する。興味を持つ団体には認サポや近トレなど実施できる支援メニューを提示、相談できるようにし、支援が行えるようにする。 ・自治会、管理組合等の担い手の不足や高齢化、役割の兼務が課題となっている為、多世代交流を検討。若い世代を巻き込むことで、新たな担い手の発掘や地域の活性化にも繋げていく。

【令和7年度】地域包括支援センター重点目標 認知症推進員アクションプラン

月	取組			(多摩センター 包括)	
月				内容	
4	認知症カフェの参加と運営 ①からきた匠カフェ 河北医療財団との共同運営。企画、月1回の実施。 ②ふらっとカフェ NPO法人麻の葉運営。月1回実施への参加と運営の補助及び専門職相談。		包括第2層COと連携して地域の団体等への認サボ等の普及啓発活動。 また依頼に応じて養成講座や勉強会の実施。		関係部署/役職・機関と取り組み内容について話し合い。 『話し合い内容』 • 包括第2層CO、社協地域福祉COと連携し地域課題の共有 • 地域のイベントやサロンの近況共有 • 訪問等の連携方法、時期、協働における行動方針の確認 • フレイル予防や認知症予防に対する団体のニーズ等の確認
5			認知症の通りの場を広めていくために		• 河北医療財団多摩事業部と多摩センター駅前の新規認知症カフェの企画、実施内容の検討
6					
7			地域単位でのステップアップ講座の実施		• 匠カフェ（認知症カフェ）にて認知症ステップアップ講座の実施。
8 ※中間報告					
9			認知症を知る月間		• 各コミュニティセンターでの何でも相談等の地域のイベントに参加し、地域での認知症普及啓発活動。 (通年実施)
10			関係部署/役職・機関と取り組み内容について話し合い。		『話し合い内容』 • 前期の活動内容の振り返りと後期の協働計画の確認
11					
12 ※評価					
1			チームオレンジの結成に向けて		認知症カフェでのオレンジパートナーの活動状況を確認し、チームオレンジの結成を検討する。
2			地域福祉コーディネーターと来年度に向けての話し合い		• 今年度の活動と来年度に向けての課題の共有
3			関係部署/役職・機関と取り組み内容について話し合い。		『話し合い内容』 • 当年度の活動内容の振り返りと次年度の計画